



Kumamoto City

News Release

令和8年（2026年）1月30日

熊本市教育委員会の行事予定や取組について

教育委員会では、連絡会議（※）で共有された行事予定や各所属の取組内容について、定期的に情報提供を行うこととしました。

このたび、1月27日（火）に開催した第14回連絡会議での主な報告事項をお知らせします。

※ 連絡会議は、教育委員会事務局内の情報共有と連携強化を目的として、各所属長が参加し、毎月1～2回開催しているものです。

【参考】第14回連絡会議について

- 1 実施日時 令和8年（2026年）1月27日（火）
- 2 出席者 遠藤教育長、教育次長、各部長、各所属長・室長ほか
計24人
- 3 報告事項 別添資料のとおりです。
各事項についての詳細は、担当課へお問い合わせください。
- 4 その他
 - ・連絡会議は内部会議のため非公開で行っております。
 - ・今後も会議終了後に報道資料を提供予定です。なお、個別の行事等の報道資料の提供は、従来どおり、担当課からも適宜行います。

【お問い合わせ先】

教育委員会事務局 教育総務部 教育政策課
電話：096-328-2704
課長：吉里 麻紀（よしざと まき）

熊本市教育委員会連絡会議〔令和8年1月27日（火）〕

課（室）名 （※問い合わせ先）	会議事項 （所管事業等の取組状況・課題の報告、意見照会、トピックなど）	今後の対応・方針等
放課後児童育成課 （課長:坂元 宏明） （電話:096-328-2277）	○令和8年度児童育成クラブの入会申込について ・受付期間 令和8年1月31日（土）まで（各クラブで受付・面談を実施）	転入・新規就労等は2月以降も随時受付
地域教育推進課 （課長:宮本 義久） （電話:096-328-2276）	Kumamoto Education Week 2026 について （1月12日～18日） ・対面プログラム 52（参加人数 2158人） 動画配信 23	対面プログラムについては、今後動画配信を予定
市立図書館 （館長:古家 達也） （電話:096-363-4522）	蔵書点検に伴う熊本市立図書館の休館について 2月2日（月）～2月9日（月） 書店と図書館がつなく未来の読者in熊本市（※資料1） 館内展示について（※資料2）	
熊本博物館 （館長:的場 弘行） （電話:096-324-3500）	2月は「くまはく誕生月間」（※資料3） 特別展「八雲とセツ 家族の物語」の会期延長 2/15⇒2/23（月祝）	
指導課 （課長:榎木 敏之） （電話:096-328-2721）	2月17日（火）天明みらい学園・新校準備会	
総合支援課 （課長:勝田 広幸） （電話:096-328-2743）	○1.6(火)フリースクール等民間施設との連絡協議会 ○1.26(月)第3回教育行政審議会	・参加216人
<特別支援教育室> （室長:竹内 賢二） （電話:096-328-2743）	○1/19～1/26授業づくり支援訪問（尾ノ上小、出水小、川口小） ○1/15特別支援教育スキルアップ派遣研修報告会 ○1/28専門家チーム・巡回相談員連絡会（オンライン）	

課(室)名 (※問い合わせ先)	会議事項 (所管事業等の取組状況・課題の報告、意見照会、トピックなど)	今後の対応・方針等
教育センター (所長:水田 貴光) (電話:096-359-3200)	○研修研究 ・1.15 (木) 教師塾「きらり」 ・1.16 (金) 学校管理職マネジメント研修 ・1.20 (火) 教職員育成協議会 ・1.21 (水) 22 (木) 採用前オンライン研修 ○教育情報 ・愛を育むロボット「LOVOT (らぼっと)」の学校貸し出し通知を発出 ○授業づくり支援 ・授業づくり支援訪問: 尾ノ上小・出水小・川口小 ・1.21 (水) 研究モデル校発表: 植木小 ○プレゼンテーションコンテスト ・1.17 (土) 教育センターで実施 ・参加: 小学校5校 中学校5校 模範プレゼン: 必由館高校 ・結果: 別紙 (※資料4)	・1.29 (木) 市一斉小学校授業研究会 ・2.3 (火) 初任校2年目研修最終回 ・2.4 (水) 研究モデル校発表: 田迎小 ・2.7 (土) 研究モデル校発表: 五福小
必由館高等学校 (校長:上野 正直) (電話:096-343-0236)	○令和8年度前期選拔出願状況について ○Kumamoto Education Week 2026における必由館企画イベントについて ・必由館企画イベント(5)の企画内容	
千原台高等学校 (校長:南 弘一) (電話:096-355-7261)	○学校マニフェスト(2025)の評価結果について 【別添資料:学校マニフェスト(2025)学校評価】(※資料5) ○第2回学校評議員会の開催について 2月4日(水)16時	
総合ビジネス専門学校 (校長:田畑 文霧) (電話:096-352-1768)	○卒業研究発表会について(報告) 開催日:1月19日(月)	生徒代表と市職員との「地域の将来について考えるワークショップ」を1月28日(水)に本校で開催予定 (※政策企画課主催)

書店と図書館がつなぐ未来の読者 in 熊本市 書店と図書館の合同研修会開催要項

- 1 趣 旨 書店・図書館等が直面する現状と課題に対して、書店・図書館等関係者が協力し、読者人口を増やすために、それぞれが置かれている現状を知り、連携協働を進めることを目的とする。
- 2 主 催 本の未来と読者を考える「書店・図書館等による連携協議会」
事務局 一般財団法人出版文化産業振興財団(JPIC)
※文部科学省
「図書館・学校図書館と地域の連携協働による読書のまちづくり推進事業」受託事業
共催: 熊本県書店商業組合 熊本市立図書館
- 3 開催日 令和8年2月7日(土)13:00~15:40(受付12:30~)
- 4 会 場 熊本市立図書館 集会室 (熊本県熊本市中央区大江 6-1-74)
- 5 対 象 公共(公民館)図書館職員、大学図書館職員、学校図書館担当職員(学校司書・司書教諭等)、書店関係者、出版関係者、報道関係者
- 6 定 員 30名(受付順)
- 7 受講料 無料
- 8 研修内容(予定)

時 間	内 容
13:00~13:40	「全国的な書店・図書館をめぐる動き」JPIC 専務理事 松木 修一 氏
13:40~13:50 (10分休憩)	「地元の書店の現状」 熊本県書店商業組合
14:00~14:40	先行連携地域の実践事例 長野県岡谷市での書店・図書館・福祉施設の連携事例 岡谷市 笠原書店 笠原社長
14:50~15:30	図書装備体験ワークショップ
15:30~15:40	まとめ 図書館・書店から締め挨拶

- 9 申込方法 インターネット(参加申込フォーム)でお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/WY52J6bPJG>



- 10 申込期限 **令和8年2月4日(水)(定員になり次第締め切ります)**

- 11 問 合 せ 本の未来と読者を考える「書店・図書館等による連携協議会」
事務局 一般財団法人出版文化産業振興財団(JPIC) 担当:松木・船田
TEL:03-5211-7282 FAX:03-5211-7285
E-mail: hondeai@jpic.or.jp

書店と図書館がつなぐ未来の読者 in 熊本市 ～作家 神永 学氏 講演会～

深刻化する読書離れへの対策として、地域の書店と図書館が連携し、読者を増やす取り組みを開始しました。その活動の記念講演として、人気小説「心霊探偵八雲」シリーズなどで知られ、若者を中心に高い支持を集める作家 神永 学 氏を招いた講演会を開催します。

【日時】令和 8 年 2 月 7 日(土) 16 時 30 分から 17 時 30 分(受付 16 時から)

【場所】熊本市立図書館 2 階ホール(熊本県熊本市中央区大江 6-1-74)

【定員】先着 250 名(参加無料)



書店と図書館がつなぐ 未来の読者 in 熊本市

2026年 2月7日(土) 16:30~17:30
熊本市立図書館 2階ホール
(熊本市中央区大江6-1-74)

申込方法 右の二次元コード、もしくはJPICホームページ(jpic.or.jp)よりお申し込みください。お申し込みは**先着順(250名)**となります。定員をオーバーした場合はお申し込みできません。



講演内容

作家：神永 学先生 講演会

今、深刻な読書離れが進んでいます。そのような状況を地域から変えていくため熊本市では地域の書店と図書館が連携して、読者を増やす取り組みを開始しました。その活動の記念講演として、「心霊探偵八雲」シリーズを始め多岐に渡る作品を展開し、若者を中心に圧倒的な支持を得る作家 神永 学さんに読書に関わるお話をして頂きます。

プロフィール



【講師】神永 学

1974年生まれ。山梨県出身。日本映画学校(現・日本映画大学)卒。自費出版した「赤い豊稔」が話題となり、2004年に「心霊探偵八雲 赤い瞳は知っている」でプロデビュー。代表作「心霊探偵八雲」シリーズを始め、「怪盗探偵山猫」「悪魔と呼ばれた男」など多岐に渡る作品を展開し、若者を中心に圧倒的な支持を得る。舞台脚本などを手がける一方で、講演会やトークショー等を行っている。

<お問い合わせ> 出版文化産業振興財団(JPIC) hondeai@jpic.or.jp 主催：本の未来と読者を考える会「書店・図書館等連携協議会」
共催：熊本県書店商業組合・熊本市立図書館 事務局：一般財団法人 出版文化産業振興財団
※文部科学省「図書館・学校図書館と地域の連携協働による読書のまちづくり推進事業」

【館内関連展示 ミステリー作家 神永 学の世界を読む】

あわせて館内では、神永学作品と関連資料を紹介する 特設展示 を実施します。
講演会とあわせて、作品世界をより深く味わっていただける内容となっています。
皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

展示期間:令和 8 年 1 月 14 日(水)~令和 8 年 2 月 1 日(日)

展示場所:市立図書館 1階閲覧室



【本でたどるシベリア抑留 — 記憶を未来へつなぐ】

戦後 80 年を迎える今、シベリア抑留という歴史的事実を次世代に伝えることは、平和の尊さを考える上で重要です。本展示では、関連図書を表示することで、来館者がより深く学び、感じ、考える機会を提供します。

展示期間:令和 8 年 1 月 14 日(水)~令和 8 年 2 月 1 日(日)

展示場所:市立図書館 1 階閲覧室



【二十歳のあなたへ ～市長から二十歳に勧める3冊～】

1月12日開催の「はたちの記念式典」において「大西市長が二十歳にお薦めする3冊」紹介されることに併せ、図書館でも当該図書を紹介し、二十歳の方だけでなく、良書に目を向けるきっかけを提供し、読書の機会を創出します。

展示期間:令和8年1月14日(火)～令和8年2月1日(日)

展示場所:市立図書館 1階閲覧室



【この史代展に連動した関連図書展示】

熊本市現代美術館で開催されている「漫画家生活 30 周年 この史代展 鳥がとび、ウサギもはねて、花ゆれて、走ってこけて、長い道のり」(2026 年 1 月 4 日～3 月 8 日)にあわせ、関連図書の展示を行っています。

本企画では、この史代さんの代表作や創作の背景がわかる資料を紹介し、作品世界をより深く楽しんでいただける内容となっています。

【展示期間】 令和 8 年 1 月 8 日(木)～ 令和 8 年 2 月 1 日(日)

【展示場所】 本館 カウンター前





熊本博物館 2月 くまはく 誕生月間

令和8年2月1日(日) ▶ 2月28日(土)

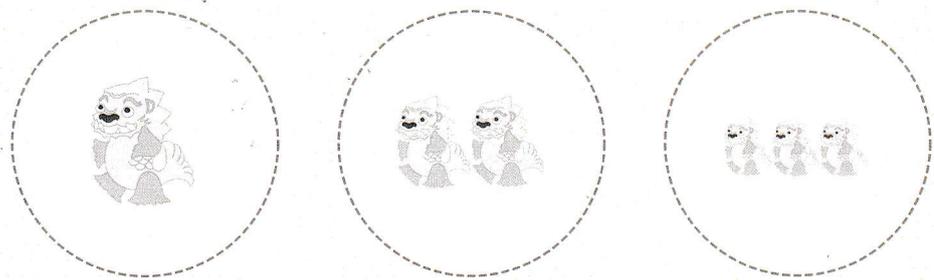
開館時間 / 9:00~17:00 (入場は16:30まで) 休館日 / 月曜日 (祝日の場合は翌日)

昭和27年(1952年)2月に熊本博物館が開館したことから、2月を「くまはく誕生月間」として、多くのイベントを開催します。



期間中、3回ご来館いただくと
「アンモナイト化石」をプレゼント!

数量限定、無くなり次第終了です。(お1人様1個限り! 形や大きさは選べません。)
特別展を観覧した方には特別にスタンプを1回分追加で進呈!



★ 期間中、プラネタリウムも投映していますので、ぜひご覧ください。
★ また、曜日、時間帯によっては投映番組が変わります。投映内容はHPを要チェック!

2月 ほぼく誕生月間 イベント一覽

小泉八雲来熊135周年記念 熊本博物館冬季特別展 「八雲とセツ 家族の物語」

日時 2月15日(日)まで開催中
午前9時～午後5時(最終入館午後4時半)

場所 熊本博物館 特別展示室1・2・3

内容 八雲とセツに関する資料をはじめ、友人西田千太郎に宛てた自筆書簡、愛息一雄が手元に残し続けたパパ八雲との思い出の品などを通して、八雲とセツ、その家族が紡いだ物語をご紹介します。



連続テレビ小説「ばけげん」展示ゾーンも!
ドラマをもっと深く楽しめる情報や出演者全身パネルなど「ばけげん」の魅力をお届けします。

対象 どなたでも

定員 なし

費用 大人1,000円、シニア900円、高・大学生700円、小・中学生500円
※年間パスポートでは観覧できません。

申込 不要

関連イベント プラネタリウム「八雲の見た星空」

日時 2月15日(日)までの毎週金曜日
午後2時45分～(40分程度)

内容 明治24年(1891)11月19日、八雲たちが熊本に来てはじめて見上げた星空を再現。八雲とセツたちのエピソードとともに星空解説を行います。

定員 170人

申込 当日先着順

費用 プラネタリウム観覧料(大人200円、高・大学生150円、中学生以下100円)

液体窒素実験ショー

日時 2月7日(土)

①午前10時35分～ ②午後1時5分～
③午後3時35分～(各15分程度)

場所 熊本博物館 実験・工作室

内容 超低温(-196℃)で物質が見える驚きの世界をご覧ください。
ただきます。

対象 どなたでも

定員 なし

費用 博物館入場料

申込 当日直接会場へ



加藤清正最初の築城、 「隈本古城」を探る!

日時 2月11日(水・祝)午前10時～正午

場所 熊本博物館～古城堀端公園
(天守閣・有料エリアには行きません)

内容 令和8年の大河ドラマで出てくるかもしれない加藤清正の隈本古城の痕跡を歩いて探ります。(2km程度歩きます)

対象 2km程度歩ける方(小学3年生以下は保護者同伴)

定員 20人程度

費用 博物館入場料

申込 当日先着順 (熊本博物館エントランス)

特別解説! 御座船波奈之丸のヒミツ

日時 2月21日(土)午前10時～11時

場所 熊本博物館 講堂

内容 重要文化財「細川家舟屋形」解体移築の映像をみながら、担当学芸員がスペシャル解説。細川家の御座船「波奈之丸」のヒミツにせまります。

対象 小学生以上

定員 30人

費用 博物館入場料

申込 当日先着順



半導体教室

～こんなところにも半導体!～

日時 2月23日(月・祝)午前10時半～正午

場所 熊本博物館 講堂、実験・工作室

内容 「産業の米」と呼ばれる半導体。その性質や用途を実験や製作を交えながら楽しく学びます。

対象 小学3年生～中学生

定員 20人程度

費用 博物館入場料

申込 2月13日まで(抽選)



身近な素材で ちぎり絵をつくろう!

日時 2月28日(土)午前10時～11時半

場所 熊本博物館 実験・工作室

内容 新聞紙・雑誌・折り紙などの身近な素材を使って「ちぎり絵」を作ります。絵が苦手な方でも、お花や動物の下絵をご用意しているので安心してご参加ください!
※のりを使うので、汚れても良い服装でお越しください。

対象 小中学生

(小学3年生以下は保護者同伴)

定員 20人

費用 博物館入場料

申込 2月15日まで(抽選)



イベントの申し込み方法

※応募者多数の場合は抽選となります(先着の記載があるイベントは先着順)。

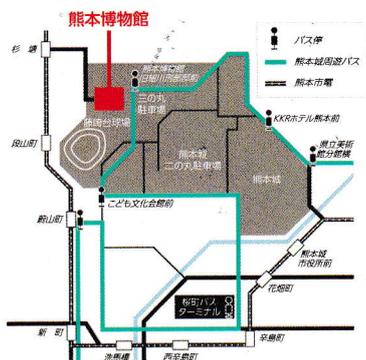
期限までにイベント名・住所・氏名・年齢(学年)・電話番号・開催時間帯(複数回実施するイベントの場合)を明記し、当館HP申し込み専用フォームまたは往復はがきでご応募ください(専用フォームご利用の場合、ご当選の方のみに返信いたします)。



※往復はがきの送り先
〒860-0007
熊本中央区古京町3-2
熊本博物館宛



ホームページ▶



博物館入場料

大人…………… 400円(320円)
高校生・大学生…… 300円(240円)
小・中学生…………… 200円(160円)

※()は30名以上の団体料金。未就学児は無料。

※熊本市内の学校に通学する小中学生は、名札やくまはくミュージアムバス等の提示で入場料無料。

※プラネタリウムは別途観覧料が必要です。

★年間パスポートがお得です!★

(大人1,000円/高校生・大学生750円/小・中学生500円)

プレゼンテーションコンテスト2025

区分	小学校の部	中学校の部
最優秀賞	榆木小	西原中
優秀賞	画図小	藤園中
優秀賞	熊大附属小	託麻中
奨励賞	向山小	楠中
奨励賞	吉松小	出水中

模範プレゼン：必由館高校

コンテストの様子は後日YouTubeで配信します。

熊本市立千原台高等学校マニフェスト(2025) 学校評価

学校教育目標『「一生懸命はカッコイイ」を実践する学校づくり～「チャレンジ チェンジ チャンス」で成長の好循環を～』を達成させるために、本年度は次のことに特に力を入れて、全職員で学校運営を行っていきます。

『進路実現100%』を目指します

上記実現のために本年度重点化する具体的実践事項とその到達目標は以下のとおりです。

1. 勉強の仕方を身につけ、「わかる」「できる」を実感できる授業実践

【設定理由】勉強の仕方を身につけることで、「学ぶ」から「わかる」「できる」につながる体験が積み重なり、さらに学びに向かう姿勢がよくなっていくという共通理解のもと、勉強の仕方を身につける指導を大切に授業をすべての教科・科目で実践していきます。

〈到達目標〉・12月に実施される自己評価の「日々の授業や家庭学習に真剣に取り組むことで、わかる・できるを実感できることがよくあった」に対し、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答率が90%以上

⇒評価：A

〔評価の理由〕12月に実施した自己評価において「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答率が約83%であり、勉強の仕方を身につけることで「わかる」「できる」を感じる授業実践ができつつある。

・観点別評価「CCC」がゼロ

⇒評価：B

〔評価の理由〕12月末時点で観点別評価「CCC」の生徒が各学年に若干名いたことと、日頃の取り組みの様子から勉強の仕方を十分に身につけたとは言い難い。

2. 進路意識の醸成を目指したキャリア教育の充実

【設定理由】進路意識が高まらない背景として「社会のことを知らない」「社会に出たとき自分がどんなことをやりたいのかがわからない」「自分が社会で通用するのか自信がない」などがあると考えられます。そこでインターンシップやオープンキャンパスへの参加率を上げると共に、社会人との交流の機会をより多く設定し、自分の将来像を具体的に描けるようにしていきます。

〈到達目標〉・夏休みのインターンシップ参加生徒数が30名以上

⇒評価：A

〔評価の理由〕今夏のインターンシップ参加生徒数は累計で34名。昨年度よりも増えた。また参加した3年生には進路先になった生徒もいた。

・オープンキャンパスの参加率が進学希望者の2年で30%以上、3年で85%以上

⇒評価：A

〔評価の理由〕オープンキャンパスの参加率が進学希望者の2年で約40%、3年で約89%。特に2年生での参加率が前年度比で15%以上あがった。

・3年進路探究において企業訪問や学校訪問等の実施

⇒評価：A

〔評価の理由〕3年の進路探究ではスペシャリストコースにおいて2校の専門学校訪

問を実施。そこが進路先になった生徒も複数名いた。アカデミックコースにおいては大学訪問が未実施。公務員コースにおいて専門学校から専任講師を招いて数的推理、判断推理の集中講座を実施できた。

・「ようこそ先輩」など大学生や社会人との交流事業を通して「進路意識が向上した」という回答が関係生徒の80%以上

⇒評価：S

〔評価の理由〕「ようこそ先輩」で大学生や社会人を招いての交流事業が3回実施でき、「進路意識が高まった」の回答が関係生徒のほぼ100%であった。

3. 探究活動を通じた社会に通用する力の育成

【設定理由】探究活動とは答えのない問いに対して自分なりの納得解、妥当解を導く、いわゆる課題解決型学習です。現状分析・仮説・実践・結果分析・改善という流れは実社会で一般的に実践されているところであり、社会で必要とされるスキルです。探究学習に力を入れて取り組むことを通じて、こうした社会人基礎力を身につかせます。

〈到達目標〉・企業または行政、大学等との連携を通して「進路意識に役立った」が10%以上

⇒評価：A

〔評価の理由〕12月に実施した自己評価において「探究活動を通して地域課題や社会課題などに目を向けたことが、卒業後の進路について考えるきっかけになった」の質問に対して「よくあてはまる」「ややあてはまる」合わせて約67%であった。

・1,2年全員がグループまたは個人で外部コンテスト等にエントリー

⇒評価：B

〔評価の理由〕1年生は今年度も大阪商業大学主催の全国高校生ビジネスアイデア甲子園に全員がエントリー、2年生は複数グループがマイプロジェクトアワード2025、中高生探究コンテスト、あいづプロコン2025などにエントリーしたが、そうでないグループもあった。

・外部コンテスト入賞1チーム以上

⇒評価：S

〔評価の理由〕フロンティアコンテスト最優秀賞を獲得し、学生起業した3年課題研究起業ゼミの株式会社KineLinkが崇城大学ビジネスプランコンテストの高校生部門で優勝、一般部門で準優勝&アドレ賞の3冠達成！マイプロジェクトアワード2025に2年生の3チームが書類選考を通過。地域Summitに参加予定。

4. 新しいことや未知の世界に積極的に挑戦する生徒の育成

【設定理由】「粘り強く考える姿勢」が不足したり、「やればできるのに簡単にあきらめてしまう」生徒は少なくない。背景にあるのは、努力することで過去の自分を超えられた経験が少ないからではないかと考えます。結果よりも挑戦する過程そのものを大事にし、そこを肯定的に捉える校内風土を醸成させ、新しいことに挑戦しようという気持ちを育てます。

〈到達目標〉・12月に実施される自己評価の「様々なことに挑戦し、新しい自分、成長した自分に出会うことができた」に対し、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答率が90%以上

⇒評価：B

〔評価の理由〕 12月に実施した自己評価において「よくあてはまる」「ややあてはまる」が約82%であったが、外部であるセミナーやイベント、ボランティアなどに自主的に参加する生徒はあまり多くないのが現状である。

- ・生徒会と連携しながら新しいことに挑戦する生徒や高い目標に向かって頑張っている生徒（通称『キラビト』）の情報を集約し、その姿を2週間に1回程度のペースで公式 SNS・魅力づくり部通信・校内放送等を活用して発信する

⇒評価：B

〔評価の理由〕 2週間に1回程度のペースには遠く及ばないものの、生徒会と連携したキラビト・プロジェクトが立ち上り、校内放送を活用した活動も実施。生徒たちの中でも「次のキラビトは誰だろう」と楽しみにする雰囲気は出ているが、それが校内に挑戦する風土を醸成するまでには至っていない。